

上位の政策名	政策目標1 生涯学習社会の実現	
施策名	施策目標1 - 1 生涯を通じた学習機会の拡大	
主管課及び関係課(課長名)	(主管課)生涯学習政策局政策課(課長:布村幸彦) (関係課)生涯学習政策局生涯学習推進課(課長:芝田政之) 高等教育局大学課(課長:清木孝悦)/専門教育課(課長:徳久治彦)/学生課(課長:戸渡速志)	
基本目標及び達成目標	基本目標1 - 1 (基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 高度で体系的かつ継続的な学習機会を提供する高等教育機関において、学習者の多様なニーズに対応し、生涯を通じた幅広い学習機会を提供する。	達成度合い又は進捗状況 概ね順調に進捗
	達成目標1 - 1 - 1(基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 放送大学において、学生数10万人を目指す。	概ね順調に進捗
	達成目標1 - 1 - 2(基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 各大学における社会人受け入れ体制の整備状況に応じて、大学の受け入れられる社会人数を増加させる。	概ね順調に進捗
	達成目標1 - 1 - 3(基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 各大学院における社会人受け入れ体制の整備状況に応じて、大学院の受け入れられる社会人数を増加させる。	概ね順調に進捗
	達成目標1 - 1 - 4(基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 社会が求める即戦力となる人材の養成のため、専修学校において受け入れられる社会人の数を増加させる。	概ね順調に進捗
	達成目標1 - 1 - 5(基準年度: H 13年度 達成年度: H 16年度) -- 地域における生涯学習の機会を拡充するため、大学等における公開講座の開設数を増加させる。	概ね順調に進捗
現状の分析と今後の課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括)	達成目標1 - 1 - 1 放送大学は、身近な学生の学習活動の拠点である学習センターの整備・充実及びそのランチ施設であるサテライトスペースの設置等を行ってきたことにより、平成14年度の学生数は、約9万9千人と着実に増加しており、概ね順調に進捗している。
		達成目標1 - 1 - 2 大学においては、社会人特別選抜の促進、長期履修学生、サテライト教室の制度化等により社会人の受け入れ体制の整備が進んでいる。平成14年度における社会人特別選抜の導入大学数は、422校と平成13年度と比較して23校増加しており、概ね順調に進捗している。
		達成目標1 - 1 - 3 上記の施策(長期履修学生、サテライト教室等)に加え、大学院の高度専門職業人養成機能の充実等により、平成14年度の大学院における社会人の数は、11,000人弱と平成13年度(10,000人強)と比較して、順調に増加している。
		達成目標1 - 1 - 4 専修学校においては、職種に応じた専門的能力を持つ人材やIT社会の即戦力となる人材を育成するため、様々な教育プログラムの開発事業を推進している。これにより、分野や地域を超えた学校間連携や、産業界との連携基盤が生まれるなど、専修学校における教育の高度化・活性化が図られ、高度な職業能力を有する人材の育成が行われており、平成14年度からはキャリアアップのための先導的な教育プログラム開発を行う「専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業」を実施するなど、専修学校において、社会人により対応した施策を展開している。これらの施策により、専修学校が社会人を受け入れられる環境整備を進めており、概ね順調に進捗している。
		達成目標1 - 1 - 5 大学公開講座は、地域住民に対し広く高度な学習の機会を提供する極めて意義のあるものであり、年々着実に地域に定着している。開設講座数及び受講者数は増加傾向にある。
基本目標達成に向けての進捗状況	平成14年度の基本目標の達成度合いについては、放送大学の学生数が着実に増加していること、大学院における社会人の数も順調に増加していること、学習者の多様なニーズを踏まえた高度専門職業人の養成に係る制度改革(専門職大学院制度の整備)が行われたことなどから、	

	概ね順調に進捗。					
今後の課題	<p>放送大学の設置主体について、従来の特殊法人から学校法人への転換を図ることにより、その運営の効率化等を推進し、生涯学習の中核的機関として国民の多様な学習ニーズに、より一層適切に応えていく必要がある。</p> <p>また、厳しい雇用情勢の中で、離職者が誇りと生きがいをもって再就職に向けてキャリアアップのために学ぶ仕組みをつくるなど、社会人により対応した施策を展開するとともに、人々の多様化、高度化した需要や地域ニーズに合致するような学習環境の質的・量的な充実を図る必要性が高まっている。</p> <p>このため、社会人が、大学等において、社会の変化に対応できる職業能力を育成することが重要であり、大学等が専門的な内容や先端の知識・技術の学習機会の提供を行うキャリアアップ講座を開設するため、文部科学省としてはそのモデルプログラムの開発、普及を図ることが、引き続き、必要である。</p> <p>大学公開講座は、年々増加傾向にあるが、引き続き、人々の多様化、高度化する学習需要や地域ニーズに対応した講座の開設及び内容の充実を図っていく必要がある。</p>					
評価結果の15年度以降の政策への反映方針 (政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	<p>平成15年度予算においては、学校数の増加等、新たな需要に応えるため、放送大学の充実・整備、大学における公開講座の実施推進を図るとともに、引き続き「専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業」を実施するなど専修学校における社会人の受け入れ体制を整備する施策の充実に努める。</p> <p>また、平成15年度においては、各大学における社会人特別選抜の促進や、校舎等以外の場所で授業を行うサテライト教室の整備などをさらに充実するとともに、専門職大学院の設置及び長期履修学生制度の促進、社会人のキャリアアップを図るためのプログラム開発、普及を図る「大学等における社会人キャリアアップ推進事業」を実施するなど、社会人の受け入れ体制の充実を図る。</p> <p>平成15年度以降、専修学校等において「実務・教育連結型人材育成システム(日本版デュアルシステム)」を導入し、企業実習と教育・職業訓練の組合せ実施により、専修学校等における社会人の受け入れ体制の整備を図る。</p>					
指標	指標名	10	11	12	13	14
	放送大学の学生数(人) (達成目標1-1-1関係)	69,775	76,229	84,086	89,770	99,281
	社会人特別選抜の導入大学数 (達成目標1-1-2関係)	319	336	362	399	422
	大学院における社会人の数(人) (達成目標1-1-3関係)	7,204	8,094	9,406	10,287	10,973
	私立専修学校における社会人の数(人) (達成目標1-1-4関係)	-	-	-	-	42,026
	大学等における公開講座の開設講座数 うち国立大学における公開講座の開設講座数 (達成目標1-1-5関係)	- 1,178	16,009 1,159	13,275 1,440	18,469 1,752	- -
参考指標	大学(学部)における社会人特別選抜枠による入学者数(人) (達成目標1-1-2関係)	5,243	5,092	4,712	4,224	3,922
	大学の在籍者数 うち学部の在籍者数(人) うち大学院の在籍者数(人) (達成目標1-1-2、1-1-3関係)	2,668,086 2,428,269 178,901	2,701,104 2,448,804 191,125	2,740,023 2,471,755 205,311	2,765,705 2,487,133 216,322	2,786,032 2,499,147 223,512
	私立専修学校の在籍者数(人) (達成目標1-1-4関係)	708,426	703,498	702,277	706,198	720,591
	大学等における公開講座の受講者数(人) (達成目標1-1-5関係)	750,196	728,257	790,510	859,487	-
備考	平成14年度から調査開始					

施策目標 1-1 生涯を通じた学習機会の拡大

